

証券外務員一種・二種合格

合言葉de合格！法

第8編 経済・金融・財政の常識

Success3

サクセスキューブ株式会社

外務員資格試験取得を応援するオリジナルの手づくりサブノートと問題集について

このオリジナルサブノートと問題集は、最近たくさんの方が馴染みのあるブログ記事・コメント風に（また、ビジネススクールの講義会話風に）作成したものです。（従来の参考書等とは異なるスタイルです。）

まずは外務員資格試験に合格していただくことを最大の使命として誕生しました。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、外務員一種試験を受験し最初不合格そして二回目の受験で合格となった個人的体験から出題傾向や試験問題パターンを分析した上で傾向と対策としてオリジナルサブノートと問題集をとりまとめたものです。

よって、「出題頻度が高い」と予想できるといった内容の記述であっても、それは一外務員種試験の不合格・合格体験から注意喚起の意味で記載するものであり、絶対に出題されると断定するものではありません。

あくまでも試験範囲の学習におかれまして一つの目安にさせていただければと思います。

金融商品取引法には

「・・・有価証券の発行及び金融商品等の取引を公正にし、有価証券の流通を円滑にするほか、資本市場の機能の十全な発揮による金融商品取引等の公正な価格形成等を図り、もって国民経済の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的とする。」とあります。

当然に金融商品取引業者等とその金融商品取引業者等に勤務する外務員は、金融商品取引法の目的のために重要な役割を果たす必要があり、投資家保護という観点のみならず、資本市場に対して相当な責任を負っていることとなります。

外務員資格取得を目指して試験にチャレンジする皆さんは、決して外務員試験合格がゴールではありません。

合格後も、いろんな制度の情報収集や新たに開発される商品についての知識向上、あるいは経済情勢の判断など、不断の努力がより一層求められることは間違いありません。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、二種外務員試験・一種外務員試験の受験生に対して、可能な限り短期間での合格を目指すためにポイントを絞り込んで、『合言葉』というキーワードとイメージを活用しながら、取り組んでいただくことを最大の狙いといたしております。

（なぜなら、受験生によっては仕事や人生の経験から馴染みのない難解な言葉・概念や、そこから用意される問題等の理解・記憶において皮膚感覚でその困難性を感じておられる方もいらっしゃるからです。）

つきましては、「外務員試験合格でよし」とすることなく、とりわけ実際の試験の時に間違ったと認識できる範囲の問題や自分なりに不十分だと認識できる分野・概念等々を合格後も追加の学習や不断の努力によって、より高い水準へと知識・スキルを高めていかれることをお勧めいたします。

当社といたしましては、一人でもたくさんの方が外務員資格試験に合格されることで仕事遂行面での貢献やさらなる人生の展開、あるいは就職活動や派遣登録等におかれましてより選択肢が増えることにつながればこれ以上の喜びはございません。

※ なお、オリジナルの手づくりサブノートと問題集は（実際の試験・出題傾向等に際しまして）日本証券業協会さまとは一切関係がございません。

※ あくまでも当社が独自の観点から出題傾向とポイントを分析した上で、記載内容を吟味して作成したものです。資格試験の学習及び試験本番に臨まれる時にはその旨十分にご了承ください。

いずれにしましてもこのオリジナルサブノートと問題集の記載内容につきましても全責任は当社にあります。万が一、記載内容そのものの誤謬や記載につきましても不備等が存在した場合の全責任も当社に帰属するものです。

【 目 次 】

I	経済について	3
	【 GDP（国内総生産）とは？ 】	3
	【 景気動向指数と日銀短観とは？ 】	3
	【 家計貯蓄と家計貯蓄率と消費性向 】	5
	【 労働力人口と労働生産性 】	6
	【 物価について 】	7
	【 国際収支と外為・世界経済 】	7
II	金融について	9
	【 金融システムとマネーストック 】	9
	【 金融政策 】	11
	【 金利と物価の関係 】	12
	【 BIS規制 】	12
III	財政について	13
	【 国と地方公共団体の予算 】	13
	【 予算成立と暫定予算 】	13
	【 歳出（一般歳出）・・・社会保障負担 】	13
	【 社会保障負担と国民負担率 】	14
	【 歳入（税の区分と税制） 】	14
IV	景気と金利と債券市況との関係	15
	【 景気と金利と債券市況について 】	15
	【 円高・円安と物価について 】	16
	【 海外金利・国内金利と円高・円安について 】	17
	【 まとめ 】	18

I 経済について

景気と経済と金融と財政。基本的な語句を（完璧でなくても結構ですので）押さえておくだけで大丈夫だと思います。

【 GDP（国内総生産）とは？ 】

※ 一年間に（日本）国内で生産された財やサービスの量を金額であらわしたものの。このGDPには、名目GDPと実質GDPとがあります。

ここで「名目」という概念と「実質」という概念を覚えておいてください。

名目GDP	実質GDP
物価上昇分を差し引いていないもの	物価上昇分を差し引いたもの

※ 要は、このGDPが（前年と・以前と比べて）どうだ、ということで経済の状況（成長しているかどうか）をみるのですネ。

【 景気動向指数と日銀短観とは？ 】

景気動向指数	日銀短観
景気がいいとか、悪いとかいうのを いろんな（経済）指標を使って （＝組み合わせて）判断します。 よくタクシーの運転手さんが 「最近、繁華街のお客さんが減ってネ」 なんていうのも（ある意味）立派な 景気動向をみる指標ともいえますネ。	日銀が約1万社の企業にアンケート調査 するものです。 3ヶ月に一回公表 DI という単語を覚えておいてください。 「良い」から「悪い」を引きます。 (例えば) 景気が良いと回答した企業20% 景気が悪いと回答した企業35% さほど良くない・・・・・・45% ※ この時の DI（ディーアイ） は $20 - 35 = -15$ となります。 景気が悪いと感じている企業が多いということになります。 では逆に

<p>この景気動向指数には種類が3つあります（重要です）</p>	<p>景気が良いと回答した企業50% 景気が悪いと回答した企業15% さほど良くない・・・35%</p> <p>というアンケート結果だった場合のD Iは？</p> <p>$50 - 15 = 35$ となります。</p> <p>景気がいい、と判断できますね。</p> <p>※ このD I が（前の調査時点と比較して）どう変化したか、ということで景気動向を判断するのです。</p> <p>※ 50%を超えると景気拡大。</p>
----------------------------------	--

先行指数	一致指数	遅行指数
景気に先行して動く	景気と一致して動く	景気に遅れて動く
<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数 ・新設住宅着工 (戸数・床面積) 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率 ※ これ注意です。 左欄の新規求人数は先行ですが、有効求人倍率は一致指数です。 ※ ということは、試験に出る可能性が・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用雇用指数 ・法人税収入 ・家計消費支出 ・完全失業率

(覚え方)

※ 先行、**新新**（新規求人数と新設住宅着工）、一致、**有人**（友人）（有効求人倍率）。

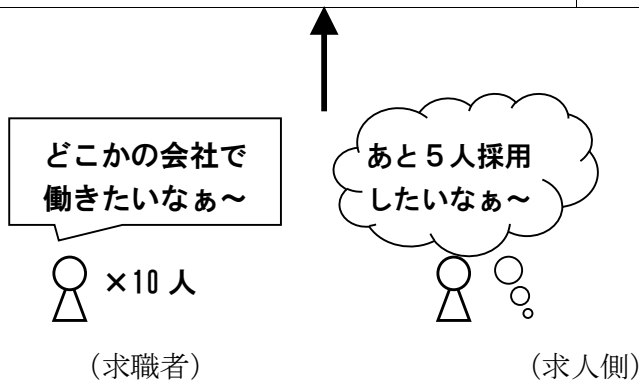
合言葉は、「せんこう、しんしん。いっち、ゆうじん」です。

・・・友達とは、仲良いですから。意見が一致しますから、と覚えておきましょう。

(語句説明)

有効求人倍率	完全失業率
<p>※ 人÷職 です。</p> <p>仕事人＝職人の反対と覚えておきます。 職÷人ではなくて、人÷職。</p>	<p>※ 完全失業者数÷労働力人口 (%)</p> <p>下の計算で覚えた方が楽ですね。</p>

有効求人倍率	完全失業率
<p>※ 求人数÷求職者数</p> <p>働きたい人（求職者）10人 採用したい人（求人）5人の場合</p> <p>$5 \div 10 = 0.5$倍</p> <p>※ 1未満だと、好景気？ 不景気？</p> <p>1超だと 好景気？ 不景気？</p>	<p>※ 就業者数 1,950万人 完全失業者数 50万人</p> <p>労働力人口 = 1,950万人 + 50万人 = 2,000万人</p> <p>完全失業率 = $50 \text{万人} \div 2,000 \text{万人} \times 100$ = 2.5%</p>



いかがですか。

もうこれで、有効求人倍率（一致指数）と完全失業率（遅行指数）、完璧ですネ。

【 家計貯蓄と家計貯蓄率と消費性向 】

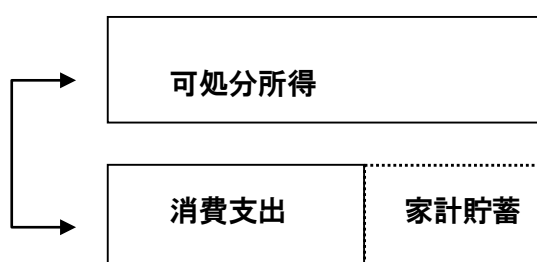
※ 自分に入ってくる所得（収入）の中から、いくら自由に使えますか？ それが可処分所得。

可処分所得	税金等	保険料等
-------	-----	------

家計に入ってくる所得の中から、税金・保険料等を引いたものが「可処分所得」です。

さらに、可処分所得は、①使うか、②貯めるか、のどちらかに向かいます。

①使うのが、「消費支出」②貯めるのが、「家計貯蓄」です。



この2つが、それぞれ可処分所得の何%になるかというのはいくらでも計算できますね。

家計貯蓄	家計貯蓄率	消費性向
= 可処分所得 - 消費支出	= $\frac{\text{家計貯蓄}}{\text{可処分所得}}$	= $\frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}}$

バッチリですね。

【 労働力人口と労働生産性 】

- ※ 一つめのポイントは、15歳以上、という概念です。
二つめのポイントは、景気が悪くなると、時間外が減る。
さらに景気悪化が進むと、（経営者は）雇用につけざるを得ないことになる、ということ（経営判断の最後が、雇用者の解雇）です。
- ※ なので、**常用雇用指数**とか**完全失業率**といったものは、**遅行指数**になります。

労働力人口	完全失業率
<ul style="list-style-type: none"> ・ 15歳以上で、働く意志を持っている人の数。 ※ 労働力人口 = 就業者数 + 完全失業者数 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 完全失業率 = $\frac{\text{完全失業者数}}{\text{労働力人口}} \times 100 (\%)$

労働力化率	労働生産性
<p>(覚える余裕があれば)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 労働力化率 = $\frac{\text{労働力人口}}{\text{15歳以上人口}} \times 100 (\%)$ 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 労働生産性 = $\frac{\text{生産量}}{\text{労働投入量}}$ = $\frac{\text{生産量}}{\text{就業者数} \times \text{年間総労働時間}}$ ※ これは覚えておいた方が○です。

【 物価について 】

企業物価指数（CGPI）	消費者物価指数（CPI）
※ 企業間で取引される中間財の価格 景気に敏感に反応する。	※ 家計が購入する消費財・サービスの小売価格 CGPIほど敏感には反応しない。 （最終消費者に近いところの経済活動であるため。）

【 国際収支と外為・世界経済 】

※ このまま覚えてください。

国際収支	
経常収支	資本収支
※ 経常収支＝財・サービスの流れ 経常収支 = 貿易・サービス収支 + 所得収支 + 経常移転収支の3つを合計。	※ 資本収支＝海外との資本の流れ 資本収支 = 投資収支 + その他資本収支

実際は、国際収支＝**経常収支** + **資本収支** + 外貨準備増減 + 誤差脱漏
 ですが、**最初の2つ**を意識しておいてください。



※ 試験では、こんなひっかけもありますヨ。
 経常収支は、貿易・サービス収支 + 所得収支 + 外貨準備増減の3つ。なんてネ。
 ×ですね。

※ （覚え方）

経常は、いつも（経常に）坊さん丸儲け！
 = 経常収支は、**経常**に（**経常**移転収支）+ **坊さん**（**貿易・サービス**）+ **丸儲け**（**所得**収支）

繰り返します。**経常は、いつも坊さん丸儲け！** いいですね。

(国際収支のうちの) 経常収支は、受け取り－支払い > 0 なら、黒字。
受け取り－支払い < 0 なら、赤字。

これ、いいですね。理解OKですよね。受け取り > 支払い・・・黒字、です。

※ **経常収支 = 国内総貯蓄（受け取り） - 国内総投資（支払い）** と一緒です。

なので、

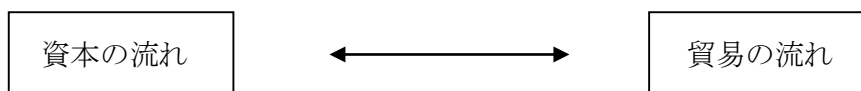
※ **貯蓄超過（貯蓄大＝受け取り）の時は、黒字。**

投資超過（投資大＝支払い大）の時は、赤字。

さあ、この単元のラストは外為と世界経済です。

※ 1ドル＝100円とか、1ドル＝75円というのは、**邦貨建て**の為替レートだというのはOKですね。

ドルを日本円（邦貨）で表しているわけですから。（「外貨建て」ではないですね。）



逆の方向・・・これを覚えておく。

※ 経常収支が赤字の国・・・（赤字分＝資金不足を補うために）資本収支は黒字、となる。
経常収支が黒字の国・・・（黒字分を海外で運用＝資本流出）資本収支は赤字、となる。

これで経済についての内容は終わりです。
お疲れ様でした。

II 金融について

ここでの学習は、金融システムと日本銀行の役割・金融政策について押さえることでOKです。

【 金融システムとマネーストック 】

日本銀行	都市銀行（メガバンク）	地方銀行
① 発券銀行 （銀行券の独占発行） ② 銀行の中の銀行 ③ 政府の銀行	※ コール市場における 資金の最大の 取り手 。 ▲ コール市場・・・後述	
証券金融会社	信託銀行	ノンバンク
	※ コール市場における 資金の最大の出し手 。 ▼ 普通の人は、信託銀行で お金を出したり入れたり 頻繁にはしませんよネ。 だから、預かりっぱなし のお金を都市銀行などに （瞬間的に）貸出してい るのです。	・銀行と違って預金業務が ないため、銀行から資金を 借りてきて、貸出等を行う 会社。 ・消費者金融、リース会社 クレジットカード会社 信販会社など。

それから、市場参加者での区分についても理解しておいてください。

金融市場			
インターバンク市場	オープン市場		
（取引参加者は） ・金融機関のみ。	・（一般事業法人などの）非金融機関も参加できる。		
コール（市場）	CD（市場）	国債短期証券（市場）	CP（市場）
↓	↓	↓	↓

コール (市場)	CD (市場)	国債短期証券 (市場)	CP (市場)
<ul style="list-style-type: none"> ・有担保、無担保あるが翌日物がメイン。 ※ (銀行間で) 一日だけ借りる、というイメージ。 ※ 資金の仲介役をするのが短資会社 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 譲渡性預金証書 (法的性格は預金) 発行者は限定。銀行等預金を受け入れる金融機関。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 償還期限1年以内の割引債。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ コマーシャル・ペーパー。(法的性格は手形) ※ 企業が発行 (銀行等が仲介) 機関投資家へ販売。

次は、マネーストックについてです。

〇〇グランプリみたいな名前もあります。M〇とか・・・ (笑)

※ マネーストック・・・国内の民間非金融部門が保有する通貨量のこと。

(銀行等を除く、企業・個人・地方公共団体等が保有する通貨量。

国や銀行が保有する預金等は含まれない。)

M1	M3	M2
<ul style="list-style-type: none"> ※ 現金通貨 + 預金通貨 (要求払預金等) 	<p>(先にM3の説明です。M2ではありません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ M1 + 準通貨 (定期預金等) + CD 	<ul style="list-style-type: none"> ※ M3のうちで預け入れ先が国内銀行等

※ マネーストックの推移をみる場合は、**M2**が多い。

※ (次は、覚えられたら覚えてください。)

マーシャルのk

・・・マネーストックが経済の活動状況 (GDP) に比べて適正な水準にあるかどうかを判断する指標。

マネーストック ÷ 名目GDP

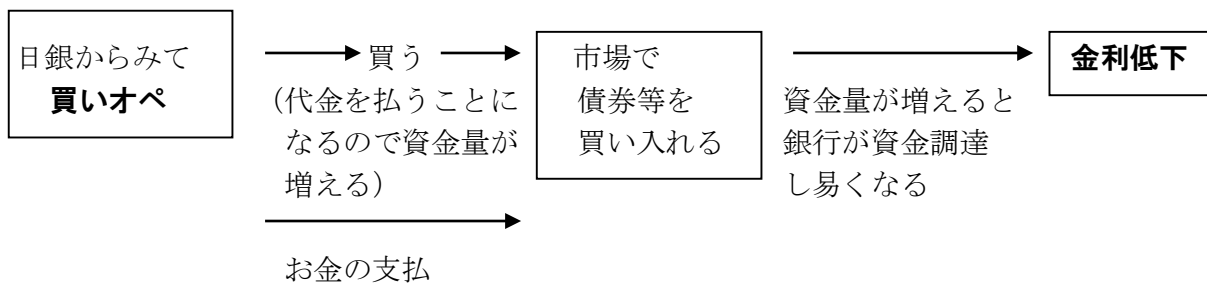
マーシャルのkは、マネーストックを名目GDPで除して求められる。

〇か×か?・・・〇! 「正解ッ!」

【 金融政策 】

※ 金融政策の代表的なものは2つです。

金融政策	
公開市場操作 (オペレーション)	預金準備率操作
<p>※ 日銀が市場の債券や手形を売ったり買ったりして、(民間金融機関が日銀に保有する当座預金残高を増減させて)、短期金利に影響を与える政策のこと。</p>	<p>※ 預金準備率の変更によって、金融機関が日銀に預けている支払準備金を増減させることで金利に影響を与える政策のこと。</p> <p>※ (下図を参考に考えてみてください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 預金準備率上げ・・・銀行資金不足 ⇒ 金利上昇(上げ、上げ=上昇) ・ 預金準備率下げ・・・資金需給緩和 ⇒ 金利低下(下げ、下げ=低下)



※ 売りオペは、上図の逆です。

買いオペ	日銀が債券等を買入れて資金供給。・・・金利低下
売りオペ	日銀が債券等を売却して資金吸収。・・・金利上昇

(強引な覚え方)

※ 「買い=貝(あさり)」は、砂の中(低いところ)にいるので、**金利低下**。
 「売り=きゅうり」は、地面の上(空中)に、ぶら下がって実を結ぶので、**金利上昇**。

「きゅうりは、きゅうり(金利)、上昇」なんちゃって!(オヤジギャグですいません)

【 金利と物価の関係 】

※

名目金利 年3%で借入

物価上昇率 1%

 だとすると、実質金利は？

実質金利 = 名目金利 - 物価上昇率 = 3% - 1% = 2% となります。

【 B I S 規制 】

これまで覚えてくださえ、お代官様。

※ B I S・・・国際決済銀行のこと。

何をする銀行か、だいたいイメージできますネ。

「B I Sとは、国際決済銀行で、(各国の) 中央銀行間の決済や国際金融問題に関する協議・調査を行っている。○か×か？」

「○」「正解！」

Ⅲ 財政について

予算と歳入と歳出について学習します。

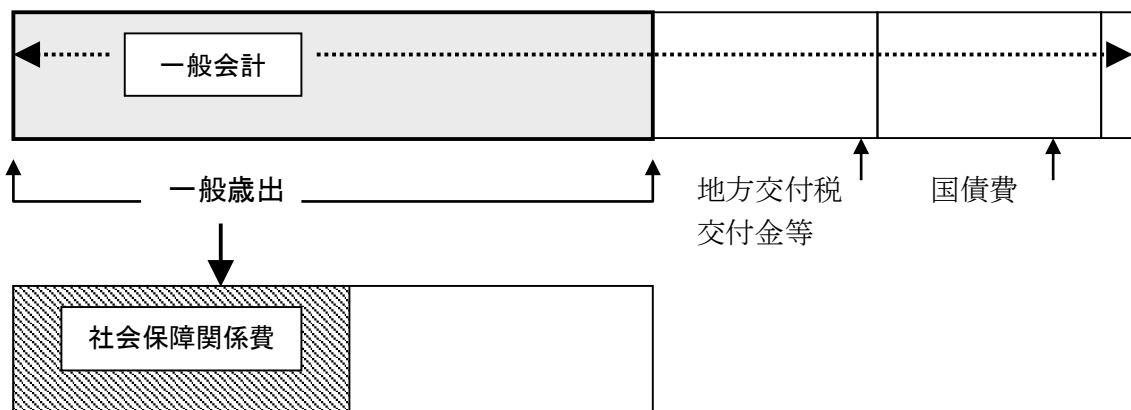
【 国と地方公共団体の予算 】

国	地方公共団体
共に、 一般会計予算 と 特別会計予算 からなる。	
予算の成立 衆議院（可決） ⇒ 参議院 ※ 参議院で決議しなくても自然成立。 （衆議院で可決された予算を受け取って から 30日 以内に決議しない場合）	

【 予算成立と暫定予算 】

本予算	暫定予算	補正予算
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算成立前に新年度開始「まあ～大変」ということで（本予算成立までのつなぎとして）成立までの必要経費だけを計上したもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災等、新たな経費を追加するもの。

【 歳出（一般歳出）・・・社会保障負担 】



※ 一般歳出の中で、一番大きな経費は「**社会保障関係費**」。・・・これはしっかりと覚える。

【 社会保障負担と国民負担率 】

- ※ 一般歳出の中での最大の経費が、社会保障関係費、でした。
いかに負担が大きいか、ということです。

そういった社会保障と租税の負担割合が、どのくらいかというものを算出したのが「**国民負担率**」です。

国民負担率 = 国民所得に対する、**租税**・**社会保障負担**の割合

※この2つセットですから！

なんと、約4割に達しているのですぞ。

【 歳入（税の区分と税制） 】

- ※ 2つの分け方で覚えてください。

国税	地方税
・ 国に納める税金（租税） 所得税・法人税・相続税・消費税	・ 地方公共団体に納める税金（租税） 都道府県民税、固定資産税、自動車税

直接税	間接税
<p>※ 納税者（のあなた）が、直接、税務当局に納める形の税金（租税）。</p> <p>※ 所得税とか法人税などがそうですネ。</p> <p>※ サラリーマンの人は、会社で源泉徴収されていますからピンと来ませんが直接税です。</p>	<p>※ 税金を払う人と納める人が違うヤツ。</p> <p>※ 消費税・・・あなたが払っても納めるのはお店屋さん。</p> <p>※ （温泉好きなあなたのための）入湯税・・・あなたが払っても納めるのは、温泉宿やお風呂屋さんですネ。</p>

最後に税制についての原則です。こんな考え方もあるんですネ。

垂直的公平	水平的公平
<p>※ 所得の多い人ほど、高い税負担をすべきである、というもの。垂直 ↑</p>	<p>※ 所得が等しい人は、等しい税負担をすべきだ、というもの。水平 →</p>

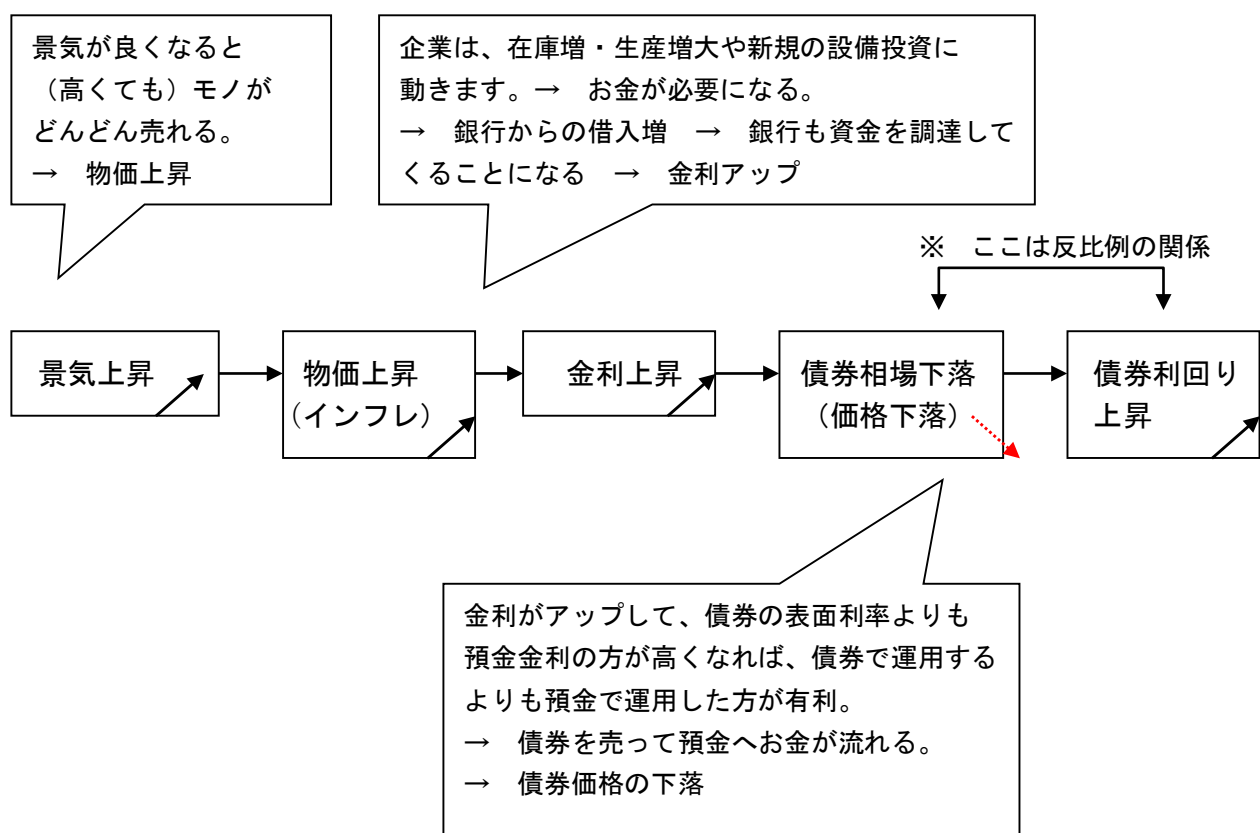
IV 景気と金利と債券市況について（債券の変動要因）

景気と金利と物価との関係や、あと円安・円高との関係などなど、耳にすることはありますね。また、債券市況がどうなるとか、債券は金利上昇やインフレに強いのか・弱いのかといった試験問題が出題されることもあります。

債券のところでも触れますが、ぜひ丸暗記しておきましょう。

【 景気と金利と債券市況について 】

※ まずこのパターンをきっちりと覚えます。
理由を知れば、「だよね～」と理解できると思いますヨ。



※ 試験の時に、この図を描けると楽ですね。
右上を向いている矢印が、一つだけ（逆の）右肩下がりですから、（覚え方としては）割と簡単ではないですか？

（強引な覚え方）

・ 理屈的に覚えることが苦手な方は、強引な覚え方でどうぞ。

では、まずゴロ合わせ的にやります。

景気（け）、物価（ぶ）、金利（き）、債券相場（さ）、債券利回り（さ）

(イメージしてみてください)

※ キ〇〇〇・ファンの皆様、悪気はございません。お許しくださいませ、お代官様、です。

(合言葉は)



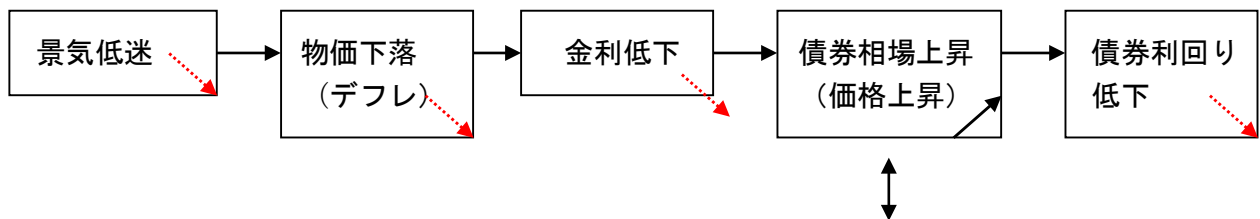
「毛深いキ〇〇〇さんに、あなたが笹の葉をプレゼントしているシーン」

「笹の葉は、**下から**上に持ち上げる形で、差し出しているところです」

・・・下から・・・右肩下がりの矢印(左側の「さ」)、お願いします。
上に・・・右肩上がりの矢印(右側の「さ」)

※ (中年オヤジが考える) 苦しい覚え方で申し訳ありません。
(試験の時に配布される計算用紙にぜひ描いてみてください。) (笑)

これが分かれば、反対は簡単ですね。
逆にするだけですから。



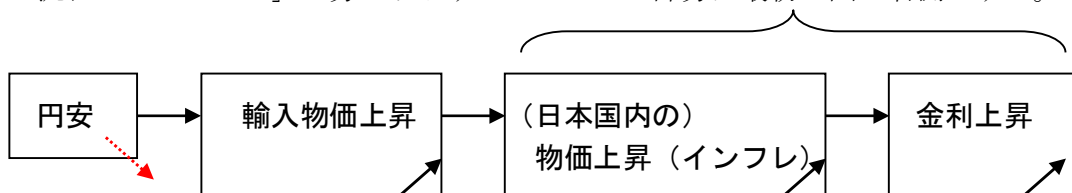
※ ここからつくれる問題として「債券は、デフレ・金利低下に強い。○か×か。」があります。
すぐ解答できますね。「答は○」→「正解！」

逆に、「債券は、インフレ・金利上昇に強い。○か×か。」・・・「×」となりますネ。

【 円高・円安と物価について 】

※ 1ドル=100円が、90円になったら円高か円安か？
110円になったら、円高か円安か？・・・みなさんご存知ということで先に進みます。

流れが「フムフム」とわかりますか？ この部分は最初の図の右側ですね。

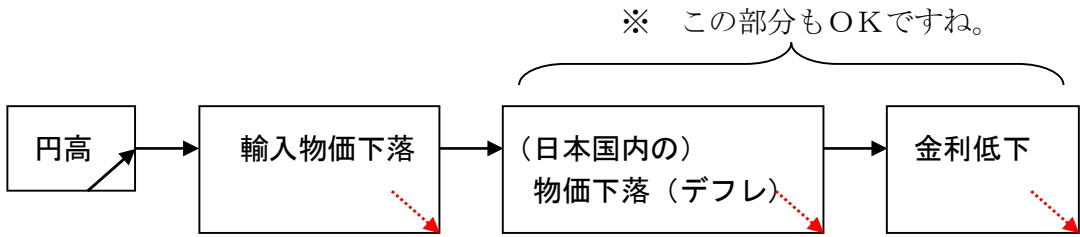


1ドル=100円が110円の円安になると、1ドルの商品を輸入するのに110円必要。
→ 輸入物価上昇。

輸入物価上昇 → 日本の物価も上昇。
→ (インフレ) → 金利上昇ですね。

ここまで大丈夫ですか？

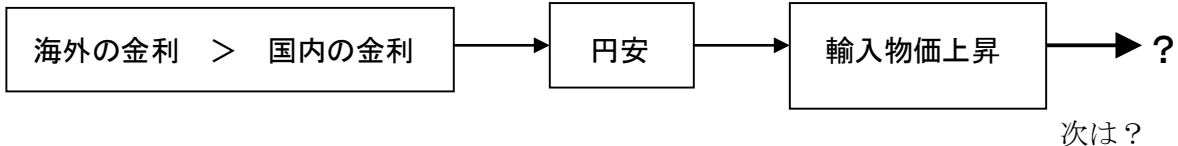
じゃあ、円高は？
簡単ですね。逆にするだけです。



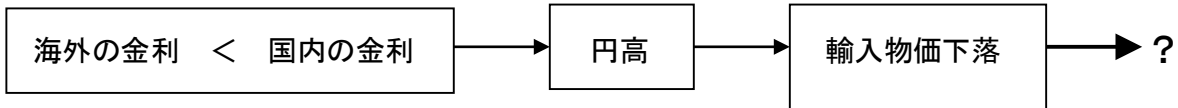
【 海外金利・国内金利と円高・円安について 】

※ 海外の金利と国内の金利差で、為替がどうなるか？です。

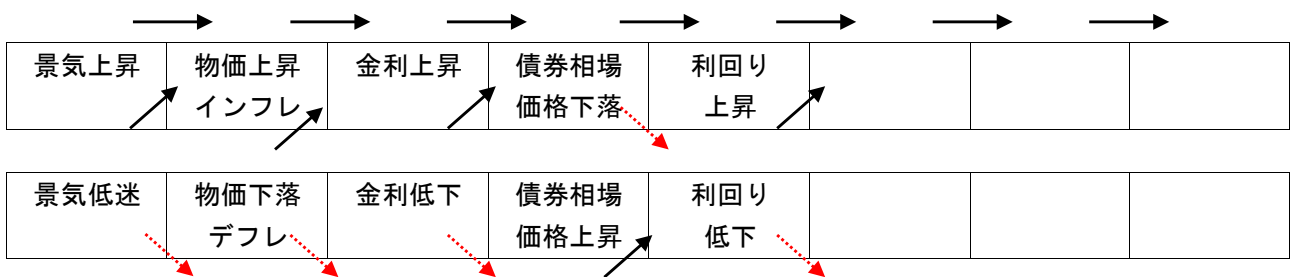
海外の金利 > 国内の金利	海外の金利 < 国内の金利
<p>※ 当然、金利の高い方で資金運用する方が有利です。</p> <p>ということは、 円を売って (ドルを買って) 海外で運用する。ですね。 ⇒ ドル高・円安。</p>	<p>※ 海外の債券を売って、日本の債券を購入する方が、有利。</p> <p>ということは、 ドルを売って (円を買う) ⇒ 円高・ドル安ですね。</p>



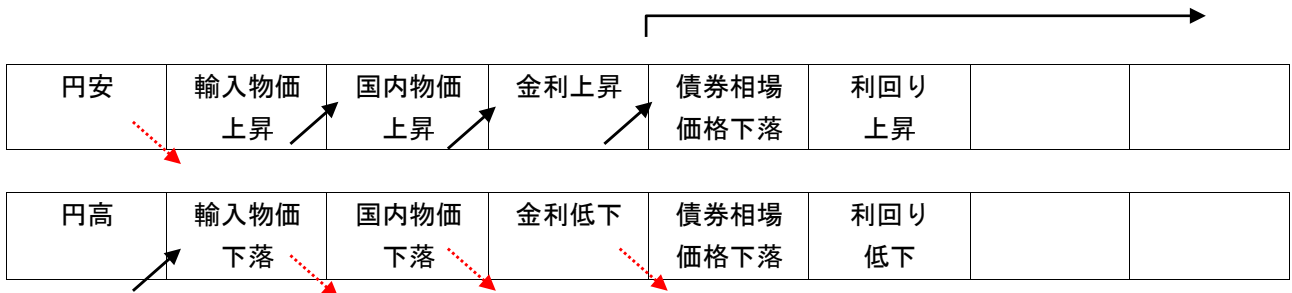
逆は簡単ですね。



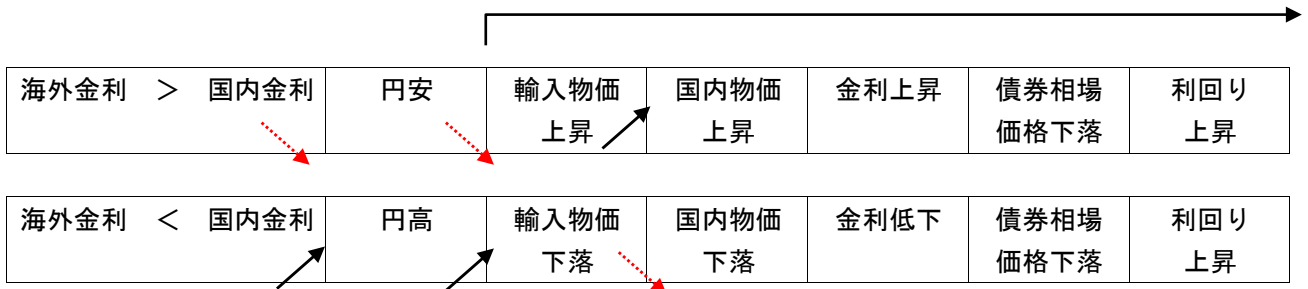
【 まとめ 】



※ 上の流れの金利上昇（低下）から右へつながると



※ 上の流れの円安（円高）から右へつながると



※ 基本の流れ（合言葉は・毛深いキ〇〇〇笹どうぞ）を押さえたら、あとは反対に入れ替えるだけです。

何か、（試験問題が）解けそうな気がしませんか？

はいここまでで、経済・金融・財政の常識は終了です。
お疲れ様でした。

（完）

証券外務員一種・二種合格

合言葉de合格！法

サクセスキューブは証券外務員一種・二種の試験合格を応援するサイトです。

Success3

サクセスキューブ株式会社

Copyright (c) <http://www.success3.jp> All Rights Reserved.

本文書は著作権法によって守られているものです。
無断での転載・利用禁止。